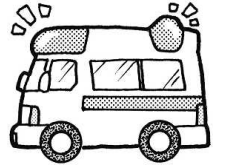


データで見る 鳴高生の傷病発生状況



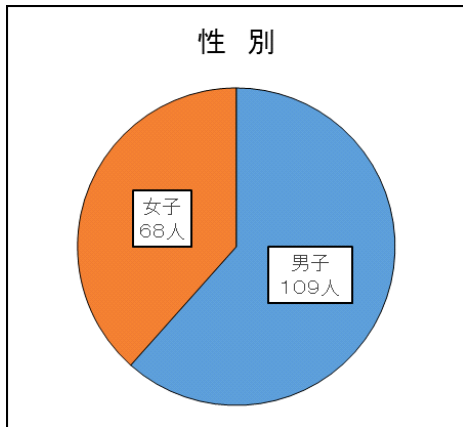
みなさんは、鳴門高校の生徒がどんなけがや病気などで保健室を利用したり、病院に行くことが多いか知っていますか？

今回は、学校での活動中や、部活動中におこった傷病で、「日本スポーツ振興センター」(※)に医療費の請求をした過去4年間のデータをまとめてみました。

傷病の発生が多い「場所」「場合」に気をつければ、未然に防ぐことができるかもしれません。今後の参考にしてください。

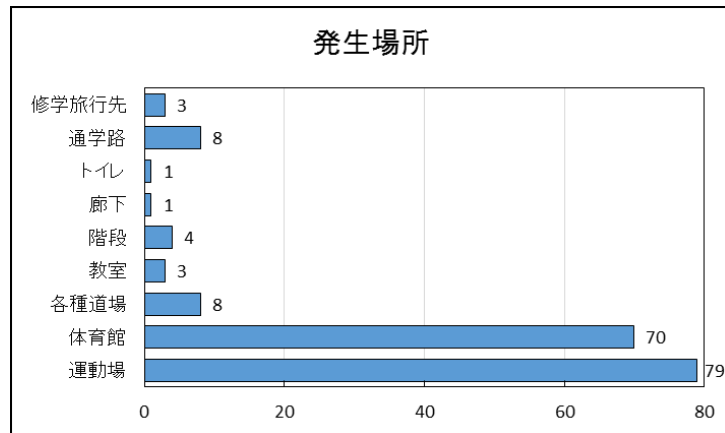
※学校の管理下でおこった傷病に対して、医療機関で500点以上の治療を受けた場合に医療費が支払われます。

1. 医療費を受けた人数



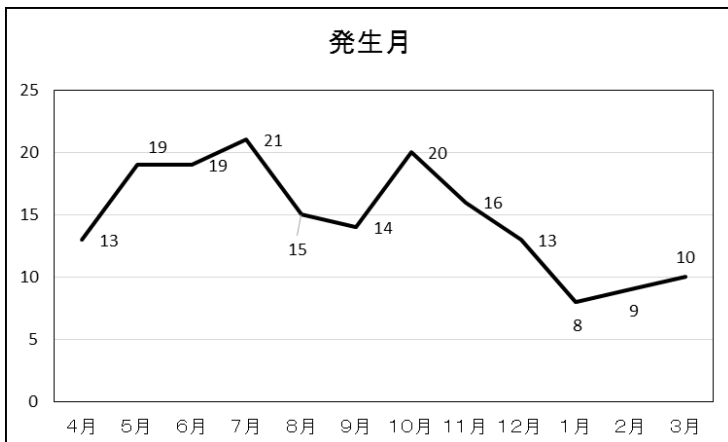
男子109人・女子68人の計177人。約6割が男子と多くなっています。

2. 傷病が発生した場所



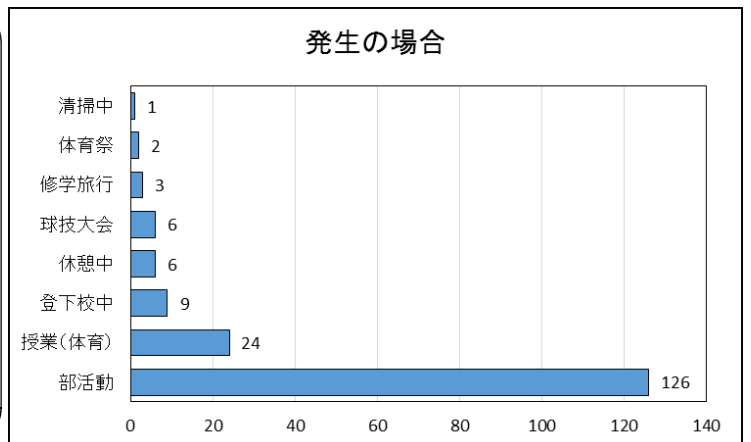
「運動場」「体育館」がほとんどを占め、次いで「通学路」「各種道場」となっています。

3. 傷病が発生した月

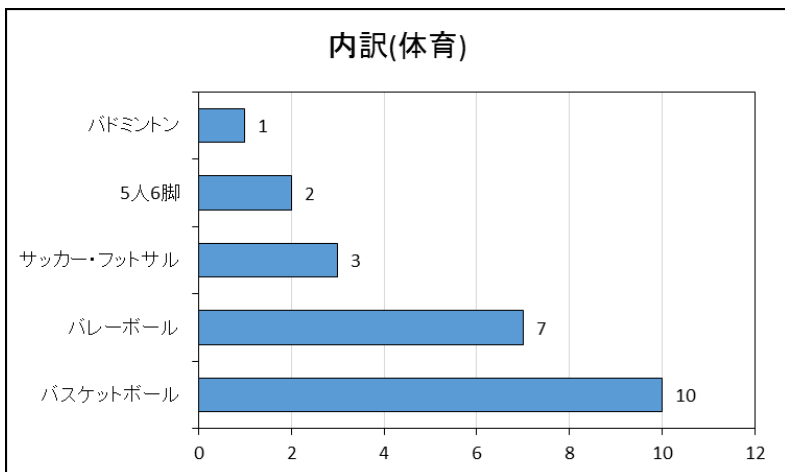


7月・10月が多く、冬季は少なくなっています。また、発生の場合はほとんどが部活動で、次いで体育の授業中となっています。

4. 傷病が発生した場合



5. 発生した場合の内訳(体育)



内訳は、体育では「バスケットボール」がいちばん多くなっており、次いで「バレーボール」「サッカー・フットサル」、部活動では「サッカー」「バスケット」「ラグビー」「ハンドボール」と接触が多い競技に多いように思います。

6. 発生した場合の内訳(部活動)

